

これだけは必要～非常時持ち出し袋の中身

非常用持ち出しバッグの内容の例(人数分用意しましょう)

- 飲料水、食料品
カップ麺、缶詰、
ビスケット、チョコレートなど
- 貴重品(めがね、入れ歯)
預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など
- 救急用品
ばんそうこう、包帯、持病の薬
消毒液、常備薬・処方箋など
- ヘルメット、防災ずきん、マスク、軍手
- 懐中電灯、携帯ラジオ
予備電池、携帯電話の充電器
- 衣類、下着、毛布、タオル
- 洗面用具、使い捨てカイロ
ウェットティッシュ、携帯トイレ
- ※乳児のいるご家庭は
ミルク・紙おむつ・ほ乳びんなども
用意しておきましょう



風水害時避難所での物資の提供について

物資の提供 (短期)

- 基本とする避難者が持参する物資は…
- 食料・飲料水・寝具・衛生用品など
- 物資の提供は、何も持たずに避難をしてきた方にのみにおこないます
- 水は、原則提供しない
施設の水道水を飲用してもらうことを基本とします
 - 防寒対策として
アルミシートを配置(避難者に配布し回収はしません)
 - バック入りの毛布や敷シート
<不必要に開封しないようにします>
※リバックに費用や時間を要します
物資は、次の災害に備えるためにあります
使用後は、直ちに補給する必要があります



物資の提供 (長期)

- 目安としては…
- 一晩経過した場合や
12時間程度経過し、引き続き避難が必要な場合
 - 非常用ビスケット・アルファ化米など
- あらかじめ…
- 1日以上避難が予想される場合
 - 公民館など物資(食料)を備蓄していない施設への物資(食料)を搬入
各区で検討 ~ 食料調達など必要に応じて危機管理局に相談します

ローリング・ストックについて

食料・飲料などの備蓄、十分ですか？

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて
普段から飲料水 や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。防
災のために特別なものを用意するのではなくできるだけ、普通の生
活の中で 利用されている食品等を備えるようにしましょう。



「飲料・食料 生活必需品などの備蓄」の例
(人数分用意しましょう)

- 飲料水 3日分(1人1日3リットルが目安)
- 非常食 3日分の食料として
ご飯(アルファ米など)、ビスケット、板チョコ、乾パンなど
- トイレットペーパー、ティッシュペーパー
- マッチ、ろうそく・カセットコンロ など

※ 大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。
※ 飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。

日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつも張っておくなどの
備えをしておきましょう。